

～まちの話題～

ふれあいの森で書初め大会

「第17回阿久比町書初め大会」が1月5日に、ふれあいの森体育室で開かれました。参加者は、幼児から大人までの110人。町内だけでなく町外からも参加があり、参加者は、真剣な顔つきで慎重に筆を振るい、「たつ年」や「春待つ心」など年齢による部門ごとに決められた課題を、力強く書き上げました。

1月21日には入賞者の表彰式が中央公民館でありました。



主な入賞者は次の皆さんです。 (敬称略)

▽町長賞 新美敦子 (英比小6年)

▽特選 山本楓珈 (南部保年長)、竹内良太 (草木小2年)、新美雄啓 (英比小3年)、新美善大 (英比小4年)、鈴村宥奈 (東部小5年)、新海華 (南部小6年)、竹内萌々 (知多中3年)

▽秀作 新美文健 (大野小1年)、榊原愛 (東部小2年)、新海由貴 (南部小3年)、真山翠 (片葩小4年)、榎本藍莉 (南部小5年)、竹内琳香 (英比小6年)、松裏千穂 (知多中3年)

自慢の^{たこ}凧が大空に舞う

「第26回阿久比町凧あげ大会」が1月8日にありました。町内小学校区ごとに設けた4会場で、親子連れなど約2,000人が参加しました。

各地区自慢の大凧の準備が整うと、周囲に緊張感が漂います。大凧が空へと上がっていくと、見守る人たちから歓声が上がりました。



手作りのビニールカイトを揚げる参加者



空へと舞い上がる大凧

子どもたちは、凧作り講習会で自ら作ったビニールカイトで凧揚げを楽しみました。思い思いの絵が描いてある個性豊かな凧が大空を舞いました。

大会で揚げられた大凧の展示会が、2月4日から中央公民館南館ホールが始まります。2月17日までとなります。各地区とも力作ぞろいですので、ご覧ください。